

北海道支店試験所で
中学生社会科見学会

NIPPO

NIPPO北海道支店試験所(北海道恵庭市)は恵庭市立柏陽中学校の生徒16人を招き、1日に社会科見学会を開いた。道路事業の説明や施設見学で災害時に道路建設業が果たす役割などを伝えた。さまざまな舗装のサンプルにも触れ、初めての経験に満ちた様子だった。



生徒から多くの質問が
飛び交った

社会科見学会は柏陽中の要望にNIPPOが協力し実現した。子どもたちは興味津々に講師に対し数多く質問。講師の中村博康所長は「新型コロナウイルス感染症防止対策を万全にして開催した。一人でも多くの生徒が道路に興味を持ってもらえればうれしい」と話した。

見学会を終えた後、柏陽中から感謝状が贈られた。先生から「普段の授業では扱わない道路建設業の役割を聞くことができ、生徒も意欲的に学ぶ姿が見られた。今後もこうした取り組みを続けていきたい」というコメントが届いた。

中学生が道路機能 の果たす役割学ぶ

NIPPO北海道支店
試験所が社会見学会



NIPPO北海道支店試験
所は1日、恵庭市立柏陽中学
校の1年生16人を招き、社会

見学会を開いた。写真。

今回は、同校が希望し、同社が協力して実現したもの。参加した生徒は、道路の機能・道路事業の説明や施設見学を通じて、災害時に道路建設が果たす役割などを学ぶとともに、さまざまな舗装のサンプルにも触れ、講師を務めた中村博康所長に対して積極的に質問した。見学後には、中学校側から感謝状が贈られ

た。

先生からは、「新型コロナウイルス感染症対策が講じられた中でもさまざまな工夫をしてもらった。普段の授業では触れない道路と道路建設の役割を聞くことができ、生徒もいつも以上に意欲的に学ぶ姿が見られた。今後も続けていきたい」と感謝の言葉があった。中村所長は、「感染防止対策を徹底的に講じた上で開催した。このような機会を通じて、1人でも多くの生徒に道路に興味を持ってもらえればうれしい」と述べた。